

# NAGASAKI

## 看護連盟だより



オミナエシ



ハギ



キキョウ



ススキ

### 秋の七草



クズ



ナadeshiko



フジバカマ

## 平成29年度 長崎県看護連盟新体制で始動！

目

次

|                      |   |                          |    |
|----------------------|---|--------------------------|----|
| 会長あいさつ……………          | 2 | 平成29年度 地区支部報告会(県南、県央) …… | 8  |
| 名誉会長あいさつ……………        | 3 | 平成29年度 地区支部報告会(県北、離島) …… | 9  |
| 新任役員あいさつ……………        | 4 | 青年部だより……………              | 10 |
| 退任役員あいさつ……………        | 5 | 施設紹介(みてみて my 病院) ……      | 11 |
| 平成29年度長崎県看護連盟通常総会…   | 6 | 研修案内、編集後記……………           | 12 |
| たかがい恵美子、石田昌宏参議院議員来崎… | 7 |                          |    |



# ごあいさつ

長崎県看護連盟 会長 久米 春代

平成29年度長崎県看護連盟通常総会にて会長に就任いたしました久米でございます。これからは会員の皆様に信頼していただき、ご理解・ご支援を賜りながら微力ではございますが、長崎県看護連盟の更なる発展に尽力して参りますので宜しくお願い致します。

さて、今年の夏は、猛暑と九州北部の豪雨で甚大な被害に見舞われました皆様には、衷心よりお見舞い申し上げます。

29年度、スローガンは

## 1. ベッドサイドから政治を変える！

～看護政策実現に向けて、自ら活動する力強い組織をつくる～

## 2. 長崎県の活性化に向け看護の力を発揮しよう！

～健康で輝く看護の心～

～看護教育の質の向上～ を掲げ、総会で承認されました。

重点目標は

1. 組織力の強化・拡大
2. 政治力の強化
3. 組織の適正な運営・管理
4. 会員の福利の充実 とし、

活動目標を 1) 県支部役員が各自の目標に沿って実践する

2) 若手会員、無関心看護職の政治活動を促進する

3) 会員の増員と育成：目標数6300人

4) リーダーの増員と育成：目標数750人以上

5) 看護協会の政策実現に向けて活動およびその他必要とする問題に取り組む

6) 看護職の現状を広く社会に紹介する

第24回参議院選挙の反省点と振り返りをおこない、平成29年度の目標を決めました。そして日本看護連盟通常総会にて、次期参議院議員候補予定者には、組織代表者として石田まさひろ現参議院議員に決定しました。

日本看護連盟におきましては、石田まさひろ議員の支援の輪を広げるために「石田まさひろを応援する会」が設置され、会長に公益社団法人日本訪問看護財団理事長である清水嘉与子氏が就任されました。活動の時期を「知る」「伝え広める」「応援する」の3期に分ける活動のスケジュールが示されました。

今年は「知る」ためのスケジュールを組み立て、活動をいたしますので宜しくお願い致します。長崎県看護連盟におきまして、組織の強化・拡大に力を注ぎ会員の増・質向上・リーダーの増を目指し、新体制でスタートいたしました。会員の皆様には、新体制に対して今までと変わらぬご支援とご協力をお願いし、連盟会長就任のあいさつとさせていただきます。







## ごあいさつ

長崎県看護協会・長崎県看護連盟 名誉会長 山口 ミユキ

残暑続きの中にも、秋の七草が咲きました。皆さまにはそれぞれの職場で日本看護協会が公表した看護の将来ビジョン・命・暮らし、尊厳を守り支える看護を重点政策事業として打ち出しております。このことを礎に看護の将来ビジョンに示された、地域包括ケアシステムは、療養する高齢者を始めとし、少子を支えるために子供を産み育てる人々、また、障害のある人々等、すべての人々が人間らしく生活ができるために、各々が持つ健康の段階に合わせた生活を支える職種として大きく期待されております。この期待に応えるため、更に質の向上が必須であり、「基礎教育4年制化」が急務であることはすでに承知のとおりで、それぞれの活動は実現のために努力を重ねている所存であります。

◎すべての人々が人間らしく暮らしができるように

～平成29年度長崎県看護連盟の活動に寄せて～

- ・平成29年7月1日の通常総会で決議された重点項目を脳裏に刻み、これまでの活動で不十分な点を充足させることであります。

◎新体制のもとで、－全国一番の活動こそがこれからの活動－

- ・石の上にも3年、重ね積み重ね乍ら連盟活動のこれから
- ・積み重ねられた上に積み重ねられた、前 金澤きみ代会長の活動、第一に信頼関係のもとで素直さ、積極性、行動力、判断力に富み、諸問題解決等のすべてを共有し活動したことが脳裏から離れない。高く評価し、新体制に引き継ぎたいものであります。
- ・積み重ねられた活動を引き継いで、各々の信頼関係こそが大切であります。

長崎県看護連盟の組織を念頭に、各々の役割を熟知のうえ、特に県役員の対応は適切な判断力で、答えは一つ、信頼関係の中での実践活動が急務であります。

- ・積み重ねた活動を継続して、－時局に即した実践活動－ 国際社会の中で生きる日本の国民として看護職者として、すべての人々の命を守る職種の立場から、常に社会の状況を把握して、その時に応じた適切な看護を提供することこそ看護職者のいま、これからのビジョンであることを信じます。

更に、より一層適切な看護が提供できるように「基礎教育4年制化」の実現に向けて、平成29年度日本看護連盟通常総会に於いて、組織代表として次期参議院議員候補予定者に石田昌宏氏に決定されましたことを確認すると共に、新体制のもと、継続して一糸乱さず努力を積み重ね「信頼こそ我が勝利」に向けて「明日を生きる」喜びに感謝と共に、皆さまの益々のご活躍によって看護が輝きますように心からご祈念して、ごあいさつと致します。

<対馬に野生カワウソ> ー国内38年ぶり確認を知る日ー

平成29年8月18日 記



## 新任役員あいさつ



副会長  
浦瀬 妙子

今年度より副会長を務めることになりました。連盟の役員としての活動は12年近く行い政治活動と選挙活動を実践して、難しさを痛感しています。看護の代表を国政に送ることがいかに重要であるか理解はできても実践となると厳しいのですが、しっかり役割を果たしていきたいと考えています。現在、4名の看護職の国会議員の先生が活躍されていますが、看護職が生き生きと働ける環境整備のため、看護の現場の声を届け、国政に反映させていただけるように、微力ではありますが久米会長を補佐し、看護政策実現のためしっかり取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



副会長  
口石ヤス子

これまで、県北地区支部の活動を3年間経験し、看護協会および看護連盟の存在を意義や支部運営の在りかたから学ぶことができました。このたび、副会長の任に指名を受け自己の力不足に限りない不安がありますが、会員のみなさまのご支援とご協力を受けながら、長崎県の明るい、元気な看護の未来に尽力して参りたいと思います。よろしくお願いいたします。



幹事  
立川 明子

私は、山口ミユキ名誉会長がいろんなご苦勞を重ねながら、看護政策実現のために看護連盟にご尽力されておられる姿に、いつも感動し感謝をしております。名誉会長の満ちあふれた看護への思いを繋いでいき、看護連盟の発展に向けて幹事として役割を果たせるように、一生懸命努力して参りたいと思います。



幹事(青年部担当)  
畑中 幸子

平成29年8月長崎県看護連盟の幹事となりました県北地区支部の畑中と申します。微力ではありますが、後輩の皆様やこれから看護職をめざす方々が看護に夢と希望を持ち、自己実現ができる職場作りに努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



監事  
下田 清子

2017年度長崎県看護連盟通常総会において監事に選出されました。あらためて重責を感じております。昨年度まで県南地区第四支部の支部長として施設での活動に取り組んでまいりました。今後は、先輩各位ならびに会員の皆様のご意見、また自身のこれまでの経験を活かして、組織の円滑な運営と組織力の強化に努めてまいります。どうぞ皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



監事  
内野かほる

今まで、県南地区第四支部の幹事及び幹事長を務めさせて頂きました。私は他県からやってきましたので、周囲の知人も無かったのですが、連盟活動を通じて、多くの方と知り合えたことが、現在の私の一番の糧になっています。これからは、長崎県看護連盟の活動の中で、更に多くの会員の皆様との交流を通じて連盟活動への理解を深めて頂けるよう努めて参りたいと思っています。





## 退任役員あいさつ



副会長  
吉村津彌子



看護連盟広報委員・県北地区第二支部支部長・県幹事・県副会長と役員仲間に加えて頂き感謝申し上げます。引き受けた以上はと、ワークとライフの調整を保ちながら務め感無量です。連盟活動を通して県下の看護職の皆様と、そして役得でしょうか、政界・他団体の方々と直に接し社会情勢等広く深く見聞する機会に同行し、看護と政治が如何に必要であるかを体得させて頂き、活動の中に感謝や喜び、楽しみが多々ありました。しかし選挙活動中は家庭を犠牲にすることもあり時に落ち込むこともあったのは事実です。在るとき、男性支部長Uさんから、私に「何のために連盟活動をやっているのか」と問われた。私は、「自分の為ではなく、多くの卒業生を送り出した責任がある」こと。「卒業後、良質の看護ができる環境が整備され、業務に見合った処遇を得て社会評価も挙げたい。」と言った記憶がある。『今でもかわらない』看護連盟の組織代表議員の活躍で看護環境が改善され、それぞれに多くの卒業生が医療・介護・行政・教育等の現場で努力を重ね中心的役割を担い活躍していることに誇りを感じています。しかし、まだまだです。これからは少子超高齢化社会と人口減少、AI（人工知能）の介入等、将来の社会情勢に如何に看護はあるべきか？現在の管理者の後継者に繋ぐ看護制度改革、そして若手、青年部も『politic-navigators-network』の目的である政治と政策の学びを通して、自分達でできることを模索し「働く環境、患者の笑顔」の為に、自立した勇気ある活動に期待します。



幹事  
加藤 淑子

看護師の仕事に就いて以来、約50年間を看護連盟会員として経過して参りました。定年退職する迄は地区支部の役員として、又その後は県役員として任期を無事終えることが出来ました。無力な私が長い間の任務をそれなりに務められたのは、山口ミユキ名誉会長を先頭に県役員や支部役員、県下の施設代表者のご協力があったからと感謝致します。支部役員や県役員を経験することで専門職である看護職は政治と強くかわりがあることを深く学びました。看護職の代表を国会へ送る為に、長崎県選出の国会議員や県議会議員、市議会議員の先生方、又他団体の方々、県下の看護職の方々と交流する事も出来ました。このことは、私が今まで生きてきた歴史の中で、家庭や職場と同様に大切な1ページとなりました。今後は長崎県看護連盟 OB として活動していくつもりです。よろしくお願いいたします。



監事  
横田ツヤ子

任期を終えるにあたり、本来の仕事ができたのだろうかと思省が先にあります。支部役員として県役員としてただただ一票でも多くの確実票を得るにはとそれのみ日々考え行動してきたように思えます。連盟の成果は選挙の結果にあります。会員数を増やすことの大切さと難しさ。賛同して下さる後援会の重要さのために行動を起こす大変さを学びました。役員としての6年間公務員としての社会しか知らない私は県役員の方のご指導又会員の協力を得て何とか任期を終えることが出来大変感謝しています。振り返りますと反面楽しい思い出もたくさんよくあり、ありがとうございました。今後の県連盟の発展を願い微力ながらも OB 会員として協力できればと思っています。



監事  
林田 英子



私の看護連盟活動は日本看護連盟長崎県支部長崎地区支部に始まり、役員としては県南地区第四支部がスタートでした。以来、平成29年度長崎県看護連盟通常総会で平成28年度会計監査報告の承認をいただき退任させていただくまで、30有余年の長きにわたり連盟会員、支部役員、県連盟役員として、活動をさせていただきました。特に平成17年にリフォーム連盟がスタートして以後は、「ベッドサイドから政治を変える」のスローガンのもと、政治力を高めるため県看護連盟・各支部活動・会員個々の活動が求められるようになり、県南地区第4支部・第7支部支部長としての在任期間は各施設の皆様には多大なご協力をいただきましたこと心よりお礼申し上げます。看護連盟活動についてはゼロからのスタートだった私に看護と政治、看護の代表を国政に送る意義、政治活動と選挙活動の違いなど多くのことをご指導いただいた、山口ミユキ名誉会長をはじめ江頭タエ子・有江和子両顧問・先輩諸姉に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

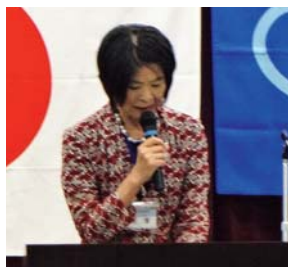
# 平成29年度 長崎県看護連盟通常総会

日時：平成29年 7月1日(土) 13:30～15:30

場所：ながさき看護センター

参加人数：523名（役員含む）

## 総会式典



会長あいさつ



## 来賓祝辞

中村法道 長崎県知事

北村誠吾 衆議院議員

富岡 勉 衆議院議員

宮本明雄 諫早市長

松本正則 諫早市市議会議長

加藤寛治 衆議院議員

谷川弥一 衆議院議員

田上富久 長崎市長

坂本智徳 県連幹事長

副島都志子 長崎県看護協会会長



来賓者の皆さま

## 日本看護連盟通常総会代議員の報告



山浦舞子さん  
(佐世保市総合医療センター)



平野晃彦さん  
(済生会長崎病院)

## 退任役員あいさつ



永年お疲れ様でした。

## スローガン

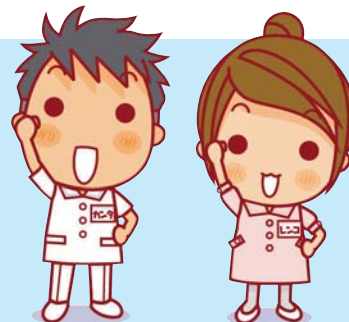
1. ベッドサイドから政治を変える！

～看護政策実現に向けて自ら活動する力強い組織をつくる～

1. 長崎県の活性化に向け看護の力を発揮しよう！

～健康で輝く看護の心～

～看護教育の質の向上～





## たかがい恵美子参議院議員来崎



7月18、19日たかがい恵美子参議院議員が2日間にわたり本県を訪れ、県南では3施設を訪問し会員と意見交換する機会を得ました。

### 7／18 訪問施設 虹ヶ丘病院 長崎大学病院 長崎みなとメディカルセンター



#### ●主な会員からの意見として●

- ・2交代になってからの夜勤手当の件
  - ・看護必要度の記録に関する負担
  - ・看護必要度の内容と労力が一致しない
  - ・認知症患者の増加による看護の煩雑さ
  - ・事務業務の多様さによりベッドサイドに行く時間が制限される など
- 現場の抱える問題が出ました。

### 7／19 長崎県対馬病院訪問



二日目は対馬に渡り、長崎県対馬病院の見学と看護職員との意見交換を実施。

その中で、島特有の問題としてマンパワー不足  
後方支援病院や訪問看護ステーションの不足により  
在宅医療の困難さが出ました。

## 石田昌宏参議院議員来崎

9月7日石田昌宏参議院議員が来崎され、午前中県央の3施設を訪問し会員との交流を深めました。

### 9／7 施設訪問 貞松病院 南野病院 市立大村市民病院



貞松病院 参加者：23名



南野病院 参加者：16名



市立大村市民病院 参加者：12名

○特別講演「国政報告」 場 所：ながさき看護センター 参加者：約230名 15：30～16：00

○意見交換会（参加者：60名（県役員・支部長・幹事長・青年部他）16：10～17：10）

石田議員は「現場の声」を重視されており今回も講演の後、役員等との意見交換会を実施しました。事前に各地区支部を通して、処遇・人員問題・子育て・診療報酬・職場環境に関し多くの意見が寄せられ4名が代表して発表しました。実際の意見も石田議員に手渡し国政に反映していただくことを期待しています。

# 平成29年度 地区支部報告会

## 県南地区支部

**日 時** 平成29年7月13日（木）18：30～20：00

**参加人数** 196名（会員146名、県役員8名、青年部6名、新役員6名、支部役員30名）

**来 賓** 10名 **場 所** 長崎県看護協会（長崎会館）研修室

県議会議員、市議会議員の先生方をはじめ、長崎県看護協会県南支部長及び看護連盟会長、県役員の方々、そして多くの連盟会員の参加により開催されました。またご来賓の方々よりご祝辞や祝電も頂き、今後の連盟活動の励みになると思います。報告会后に特別講演として、参議院議員 古賀友一郎先生をお迎えして、先生の日頃の活動などを直接お聞きする貴重な時間となりました。皆さんのご協力により特に大きな問題もなく終了することが出来ました。ありがとうございました。



## 県央地区支部

**日 時** 平成29年7月14日（金）18：30～20：30

**参加人数** 178名

**場 所** ながさき看護センター

梅雨空の中、予定通り県央地区報告会と第一回合同研修会が参加者178名のもとに開催されました。参加者で埋め尽くした会場に県議会議員の中村和弥先生、諫早市議会議員の福田美子先生、そして山口ミユキ名誉会長を迎え大盛況でした。



山口ミユキ名誉会長の『看護、ただ一筋に、そして「明日を生きる」』という講演では、これまでに山口ミユキ名誉会長の人生とともに、長崎県看護連盟の実績とこれからの看護師にとって必要なことについて熱く講演され参加者も感銘し、一丸となって連盟運動を盛り上げていこうと気合が入りました。

最後に、青年部が元気ある「頑張ろうコール」を会場全員と行い終了しました。



## 県北地区支部

**日 時** 平成29年7月13日(木) 18:30~20:00

**参加人数** 120名 **場 所** 佐世保市中央公民館

県北地区支部では、平成29年7月13日(木)に支部合同報告会並びに研修会を開催しました。来賓の長崎県看護協会県北支部の山口支部長から「今こそ看護師の腕の見せどころです。協会と一緒にがんばりましょう!」という力強いご挨拶を頂きました。

120名の出席のもと、平成28年度活動報告に続き、平成29年度の活動計画案については大多数の承認を得ました。今年度は、人材育成研修として職能毎に分けて新人及びリーダー研修(各2回)、主任・中堅ナース研修(1回)、施設代表者・管理者研修(1回)を計画し、次期参議院議員候補予定者の石田まさひろ議員の会員への周知徹底を図っていきます。最期は新役員の紹介と今年度から県の副会長となられる口石ヤス子前支部長に代表して挨拶をして頂きました。今後も新メンバーと施設リーダーと密に連携をとり、支部活動を行っていきますのでご支援とご協力をお願い致します。



研修会では、長崎県看護連盟前副会長の吉村津彌子先生に「看護の仕事～これまで・これから～」のテーマで講演をして頂きました。看護職になってからこれまでの様々なエピソードを交えながらのお話しでしたので、とても興味深くて参加者全員が熱心に聞き入っていました。吉村先生、素敵なお話をありがとうございました。そしてお疲れ様でした。



## 離島地区・下五島支部

**日 時** 平成29年7月13日(木) 18:30~20:00

**参加人数** 13名

下五島支部では7月13日に28年度の支部報告会を兼ねた交流会を実施しました。28年度の支部活動については文章を基に報告しました。

その後、交流会とし支部長の挨拶の後、各自の自己紹介を行いました。日頃から同じ看護職ということで顔を合わせることはありましたが、親しく話をする機会は少ないため会員同士交流できる良い場となりました。食事をとりながらの会ということで女性同士、料理の話題も出て楽しい会となりました。食事は安価なのに品数が多く女性向きで皆満足しました。最後は記念撮影をし、家へのお土産も買って帰りました。会員数の少ない支部ですが地域に根差した、無理のない支部活動を行っていきたいと思っています。



# 青年部だより



## ★第5回九州ブロックポリナビワークショップ in 沖縄に参加してきました

○特別講演：日本看護連盟名誉会員 備瀬 信子先生  
「沖縄の臨床看護のあゆみ」

○参議院議員 石田 昌宏先生  
「これから変わる看護のかたち」



○ワークショップ

福岡県：働き方改革について

熊本県：訪問・在宅医療（介護）

佐賀県：看護教育

鹿児島県：離島医療

大分県：地域包括ケア

長崎県：特定行為に係る看護師

宮崎県：災害（防災）医療

平成29年  
5月27日土

沖縄県における看護の歴史や人口減少や高齢化、人工知能など時代の変化に伴う今後の看護の未来について学んできました。そして、「これからの未来への創造」というテーマで各県が発表し、長崎県は特定行為に係る看護師について実際の活動やその活動内容を寸劇とスライドで発表してきました。また、他県と交流を図り、情報交換なども行うことができました。



## ★平成29年度第1回青年部研修が行われました（8月26日） 13:30～15:30 場所：ながさき看護センター 参加者29名

各地区（県央・県南・県北）の報告や九州ブロックポリナビワークショップ in 沖縄の報告をし、青年部員として看護と政治の関係について理解を深めました。また、今後の活動を活発化させるために仲間作りの方法を「仲間づくりや次期参議院議員候補予定者の知名度を上げるためにどのようなことをすればよいか」というテーマでグループワークを行いました。その中では「少しずつ活動を理解して、職場の人たちに青年部の話をしていくこと」や「キャラバン活動を通して候補者を各施設へ紹介していく」などの意見がありました。それらの意見を活用し、今後の活動を行っていきたいと思っています。今後も、青年部の活動にご理解とご協力をお願いします。





# みてみてmy病院

第18回

日本赤十字社長崎原爆諫早病院

当院は、長崎県内の2つめの赤十字病院として、平成17年に開院しました。以来、『赤十字精神のもと、地域並びに被爆者の皆様に「心のこもった良質な医療」を提供します』を理念に掲げ、県央地区の人々の健康増進、及び質の高い医療の提供に取り組んでいます。



内科のみの単科で、病床数は123床（一般急性期51床、地域包括ケア病床52床、結核病床20床）です。週3回（火・木・土）に救急輪番を担当し、県央地区の救急医療を担っています。平成28年度より、訪問看護ステーションを立ち上げ、在宅で安心して療養できるよう支援しています。

場所は、諫早市多良見町の小高い丘の上に立ち、豊かな自然に囲まれ、春は桜が満開となり見事な風景が楽しめます。冬は空気が澄みわたり、夜になると満天の星空を眺めることができます。喜々津駅から徒歩10～15分、病院正面玄関まで路線バスがあります。自家用車の場合、駐車場使用は無料です。

のんご諫早まつり、たらみ市など地域の行事へ積極的に参加し、地域の皆様と**もっとクロス**し、地域に根付いた選ばれる病院であり続けることをめざしています。



院内では、サマーコンサートや赤十字健康フェスタ等、患者さんや地域住民が参加できるイベントを定期的で開催し好評を得ています。



看護部の教育体制は、「赤十字医療施設のキャリア開発ラダー」に基づき、日本赤十字社長崎原爆病院と共同で臨床看護実践に沿った研修を企画し、年間とおして展開しています。また、eラーニングを導入し好きな時に好きな場所で学習できる環境を整えています。ラダーレベルⅠ研修では、一部公開とし、他施設の新人も受け入れています。開院以来、新人離職率0を維持しています。

文責 田中 憲子

my病院・施設を紹介してみませんか？

「これが自慢！うちならでは！頑張ってます!!」なんでもOKですよ。

応募方法はこちら → [hyk.renmei@kangorenmei-nagasaki.jp](mailto:hyk.renmei@kangorenmei-nagasaki.jp) または Fax (0957) 49-8066

たくさんの応募  
お待ちしております。



## 他団体との交流会



看護連盟の活動の一つとして他支援団体との交流があります。去る8月27日(日)11:30～13:30堂崎第3公民館にて福田美子諫早市議の支援団体「もみじ会」の皆様20名と長崎県看護連盟役員9名で懇談会を実施しました。

その中で、これからの健康な人生を送る為に地域に根差した看護の役割として地域包括ケアについて意見交換をしました。

## 江頭タエ子氏退任

永年にわたり看護連盟活動にご尽力いただいた江頭タエ子氏がこの度顧問を退任されることになりました。先生は山口名誉会長、有江顧問と苦楽を共にし力を尽くされました。穏やかで、包み込まれるような先生の笑顔がとても印象に残っています。今後は、自身の趣味に力を注がれるとのこと。どうぞご健康に気を付けられ楽しくお過ごしください。永年にわたり本当にありがとうございました。



## 研修案内

### 新入会者研修会

長崎県看護協会（長崎会館）

平成29年12月2日(土) 13:30～16:00

### ポリナビワークショップ in 長崎

（青年部・新入会者研修）

ながさき看護センター

平成30年1月20日(土) 13:30～16:00



今年は例年にない猛暑とゲリラ豪雨が多発した大変な夏でした。長崎県看護連盟も新会長、新役員の体制で8月からスタートしました。たかがい、石田両参議院議員も来崎され、会員の意見に熱心に耳を傾けていただきました。この「連盟だより」がそのような情報の発信元になれるよう今後も頑張っていきたいと思います。皆様のご協力をお願いします。

広報委員一同